

『たかとり土佐街道とキトラ古墳』

土佐街道は高取藩二万五千石の城下町として発達しました。かつて武士や町人らが行きかった土佐街道は、昔ながらの街並みが残っています。正面に見えたであろう高取城に思いを馳せながら時代を映す道を散策したいと思います。また、午後からは、高松塚古墳に次ぐ我が国2例目の壁画古墳・「キトラ古墳」を訪ね、キトラ古墳壁画体験館に入ってキトラ古墳と古代飛鳥を楽しみます。

● 実施日： **2021年10月8日（金）**

● 集合：近鉄壱阪山駅 **2班3班→10時15分集合**（壱阪山駅10時05分着の電車）

1班4班→10時45分集合（壱阪山駅10時36分着の電車）

● 壱阪山駅へのアクセス（各時刻は変更になる場合がありますので、直前に再度ご確認ください）

2班3班（近鉄）大阪阿部野橋 9:20 発（近鉄南大阪線急行）→壱阪山駅 10:05 着

（近鉄）大阪難波 8:48→鶴橋 8:57→大和八木 9:27→橿原神宮前 9:59→壱阪山駅 10:05 着

1班4班（近鉄）大阪阿部野橋 9:50 発（近鉄南大阪線急行）→壱阪山駅 10:36 着

（近鉄）大阪難波 9:25→鶴橋 9:33→大和八木 10:14→橿原神宮前 10:30→壱阪山駅 10:36 着

● コース：壱阪山駅—子嶋寺—下屋敷門—夢創館—武家屋敷—植村家長屋門—（折り返し）

壱阪山駅—キトラ古墳—（昼食）—キトラ古墳壁画体験館見学—壱阪山駅（解散）

※ 1班4班は、出発時間が遅くなるため昼食時間が少し遅くなります。

●解散：2班3班は14時15分頃（壺阪山駅発14時20分発の電車に乗れます。）

1班4班は、14時45分頃（壺阪山駅発14時53分の電車に乗れます。）

●持ち物：弁当、飲み物、帽子、マスク、手指消毒剤、雨具

●雨天時：前日17時のNHKTV明日の天気予報で「奈良北」の午前または午後の降水確率が60%

以上で中止

●高取町観光ボランティアガイドの会によるグループ毎の案内（午前中）

●参加申し込み：ガイド協会へ参加者名簿を提出する必要がある、9月17日の班会議で出欠を確認
します。班会議を欠席された方は出欠を班幹事までお知らせくださいますようお願いいたします。

●班幹事は、最終の参加者の名簿を10月1日（金）までに宮澤までメールでお願いします。

子嶋寺



天平勝宝4年（752年）建立。町内では壺阪寺に次ぐ古刹です。現在の下子島を中心に、一時は21坊の伽藍を誇りました。子島曼荼羅の名で有名な国宝「紺綾地金銀泥絵両界曼荼羅図」（奈良国立博物館保管）は平安初期のもので日本三大曼荼羅の一つです。

土佐街道

寛永7年（1640年）植村氏が藩主として入城後、山上の高取城では日常生活が不便なため藩主をはじめ家臣の屋敷は街道筋に移し、城下町が形成されていきます。今も古い町屋が残

る石畳の道が、当時のメインストリート土佐街道。正面の山が高取城。この石畳は、阪神大震災の復旧工事に出てきた阪神国道の路面電車の石畳を利用しています。

町屋は、当時ほとんどが平屋で2階は屋根裏程度となっています。つし（厨子）2階建てと呼ばれています。お殿様を見下ろさないという配慮からと言われています。窓には、連子格子が取り付けられ、このような昔ながらの町屋が今も街道沿いに続いています。

街道沿いには下屋敷の門が移築されている石川医院があります。

城下町としての名残が随所に見えます。街道の両脇には水路があって火事の際には防火水に使えるよう水を堰き止める板をはめることが出来るようになっていたり、馬をつないでおく「駒止め」と呼ばれる金具が残っています。また、町屋と町屋の間の隙間には間者等が潜めないよう板張りがなされているのも城下町ならではの、です。



夢想館



明治～大正の呉服屋で時代を物語る建物は、現在、町の観光案内所「夢創館」として利用されています。高取の特産品の展示販売、ギャラリーとして活用されています。

キトラ古墳

高松塚古墳に次ぐ我が国2例目の壁画古墳で、1983年の調査で石室内に描かれた極彩色壁画が発見されました。キトラ古墳は、藤原京の南に広がる古代の皇族・貴族などの墓域に所在する小さな円墳で、7世紀末～8世紀初頭頃に造られたと考えられます。東西にのびる丘陵の南斜面に位置し、墳丘は2段築成で、下段の直径が13.8m、上段の直径が9.4mに復元できます。また、四神の館では、キトラ古墳壁画の4面マルチ高精細映像や原寸大のキトラ古墳石室模型の展示等を見ることができます。

